

コロナと新しいアレルギー検査

異常気象と新型コロナデルタ株やさらに変異していくウイルスの感染拡大のなか、皆様、いかがお過ごしでしょうか。子供も大人も心にストレスを溜め、閉じこもりの中で体力を落としていきます。仕事が減ったり、無くなったりで経済的困窮の中、食事もままならない方たちが、各地のフードプロジェクトにたくさん参加しています。またコロナ感染した方は中等症でも軽めの方はほとんど入院できず、自宅療養中に悪化して亡くなる方が出てくるなど、こんな事が今の日本で起きていることは信じがたいです。総額4兆円以上と言われるオリパラ費用を、困難を抱える人々への支援、コロナ対策に充てられていたら、と思うと選手たちからの感動も、色褪せたものになってしまいます。

新型コロナワクチン（ファイザー製）は、約600回接種しましたが、ワクチンそのものアレルギーがある方は、約1%でした。接種量を減らせば、大丈夫な方もいました。新型コロナウイルスに抗体が高い方（Oリングテストにて検査）は、2回目が特に多いのですが、ワクチンアレルギーがみられ、抗体が下がってくるまで接種を延期せざるをえませんでした。たいていの方が1～3週間延期すれば抗体が下がり、接種できる状態になりました。中には2か月延期せざるをえない方もいました。また、消毒用のエタノールや針（金属アレルギー）に反応している方もあり、それらのチェックも行い対策をとるようにしています。

治療薬についても、インドやアフリカでは、大村智教授が発見したイベルメクチンが有効だという論文が多い中、米国、WHO等は認めてない等もあるのか、政府は及び腰です。一応適応外治療として認めてはいますが、コロナ患者さんを大勢治療している開業医の先生は、イベルメクチンが有効だから積極的に使うべきだ、と発言しておられました。私達も疥癬治療でよく使っているものです。Oリングテストでは、イベルメクチンは新型コロナウイルスに有効と出ます。しかも安価で安全です。

ウイルス感染症の対策の一つに自分のアレルギーを摂らない、と以前のコラムで書きましたが、アレルギーを摂ると免疫力がかなり落ちます。アレルギー診断には、Oリングテストだけでは不十分ですから特異IgE抗体を血液検査で診ているのですが、採血が嫌い、採りにくいなど困難な事が多く困っていました。指先からの1滴の血液で41種類（食物系は22種、吸入系その他は19種）のアレルギーが、30分で判明する検査を行えるようになりました。ご希望の方は来院後早めにお申し付けください。

鈴木富美